



i-mizuho

インデックスシリーズ

債券	i-mizuho国内債券インデックス
	i-mizuho先進国債券インデックス(為替ヘッジあり)
	i-mizuho先進国債券インデックス(為替ヘッジなし)
	i-mizuho先進国インフレ連動債券インデックス
	i-mizuhoオーストラリア債券インデックス
	i-mizuhoハイイールド債券インデックス(為替ヘッジあり)
	i-mizuhoハイイールド債券インデックス(為替ヘッジなし)
リート	i-mizuho国内リートインデックス
	i-mizuho先進国リートインデックス(為替ヘッジあり)
	i-mizuho先進国リートインデックス(為替ヘッジなし)

株式	i-mizuho国内株式インデックス
	i-mizuho先進国株式インデックス(為替ヘッジあり)
	i-mizuho先進国株式インデックス(為替ヘッジなし)
	i-mizuho米国株式インデックス
	i-mizuho欧州株式インデックス
	i-mizuhoオーストラリア株式インデックス
	i-mizuho新興国株式インデックス
	i-mizuho東南アジア株式インデックス
	i-mizuho中国株式インデックス
その他	i-mizuhoコモディティインデックス
	i-mizuhoゴールドインデックス

※本資料では上記の21ファンドを総称して「i-mizuhoインデックスシリーズ」という場合があります。また各々を「各ファンド」という場合があります。なお実際のお取引は、各ファンドごとに取り扱われます。また、販売会社により、取り扱うファンドが異なる場合があります。

各ファンドの基準価額は、組み入れられている有価証券の値動きの他、外貨建資産に投資する場合には為替変動による影響を受けます。これらの信託財産の運用により生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、各ファンドは元金および元金からの収益の確保が保証されているものではなく、基準価額の下落により投資者は損失を被り、元金を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

みずほ証券での取り扱いはみずほ証券ネット倶楽部(インターネット取引)でのお申し込みに限定させていただきます。

お申し込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面の内容を必ずお読みください。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申し込みは

設定・運用は

MIZUHO みずほ証券

ブラックロック・ジャパン株式会社

商号等 みずほ証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

商号等 ブラックロック・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第375号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



i-mizuhoインデックスシリーズとは、『幅広いラインアップ』、『シンプルで低コストのインデックス運用』、『世界最大級の資産運用会社「ブラックロック」が運用』を特徴とした、ファンドシリーズです。

i-mizuhoの「i」とは？

investment : さまざまな投資ニーズに応えるファンドシリーズ

index : シンプルで分かりやすいインデックス運用

internet : インターネット専用

特徴① 幅広いラインアップ

i-mizuhoインデックスシリーズは、「債券」「株式」のみならず、「リート（不動産投資信託）」や「コモディティ（商品）」等を幅広くラインアップしています。地域別では、「国内」だけでなく、「先進国」「新興国」をカバーするほか、個別の国・地域へも投資可能としています。また、一部のファンドについては「為替ヘッジあり」のタイプもご用意し、為替変動リスクを抑えたいお客さまの運用ニーズにも対応いたします。

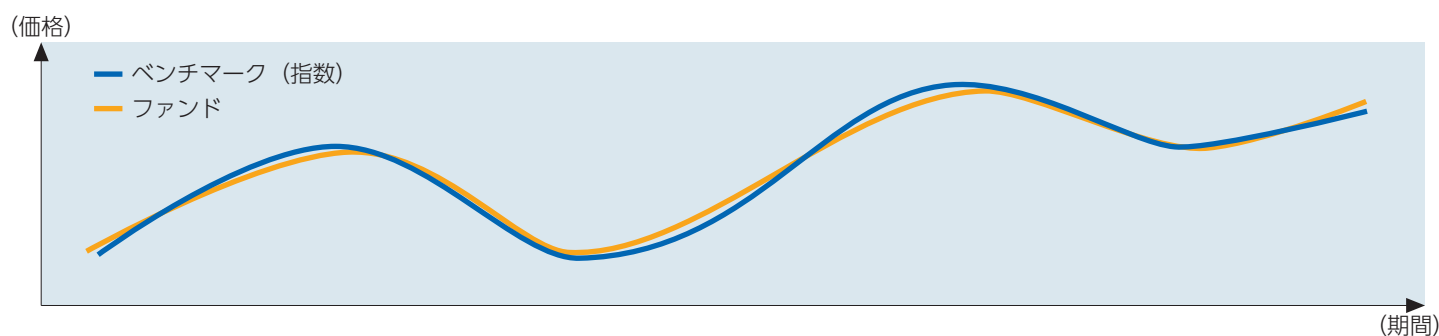
	国内	先進国		新興国
		為替ヘッジあり	為替ヘッジなし	
債券	i-mizuho 国内債券インデックス	i-mizuho先進国債券インデックス (為替ヘッジあり / 為替ヘッジなし)	i-mizuho 先進国インフレ連動債券インデックス	
		i-mizuhoハイイールド債券インデックス (為替ヘッジあり / 為替ヘッジなし)	i-mizuho オーストラリア債券インデックス	
株式	i-mizuho 国内株式インデックス	i-mizuho 先進国株式インデックス (為替ヘッジあり / 為替ヘッジなし)		i-mizuho 米国株式インデックス
				i-mizuho 欧州株式インデックス
				i-mizuho オーストラリア株式インデックス
			i-mizuho 新興国株式インデックス	i-mizuho 東南アジア株式インデックス
				i-mizuho 中国株式インデックス
リート	i-mizuho 国内リートインデックス	i-mizuho 先進国リートインデックス (為替ヘッジあり / 為替ヘッジなし)		
その他	i-mizuho コモディティインデックス		i-mizuho ゴールドインデックス	

特徴② シンプルで低コストのインデックス運用

インデックス運用とは、市場の代表的な指数(例:日経平均株価等)を運用の基準とし、これらのパフォーマンスに連動する運用成果を目指す運用手法で、一般的にアクティブ運用のファンドと比べてインデックス運用のファンドは、投資者がファンドの信託財産から間接的に負担する「運用管理費用(信託報酬)」(以下、信託報酬といいます)が低い傾向にあります。なお、主として信託報酬や取引費用およびファンドの組入銘柄とベンチマーク採用銘柄の相違等の要因があるため、ベンチマーク(連動を目指す対象指数)と一致した推移をすることを約束するものではありませんが、値動きがわかりやすいことが特徴です。

なお、新興国市場への投資は先進国市場への投資に比べて、高い取引コストがかかる場合や複雑な投資規制が課される場合があり、当該市場に投資するファンドにおいては、基準価額と対象インデックスとのかい離が相対的に大きくなる場合があります。

■ インデックス運用ファンドの値動きのイメージ図



i-mizuhoインデックスシリーズは、お客さまが投資しやすいよう購入時手数料がかからないノーロードファンドとし、保有期間中のコスト(信託報酬)も低くおさえています。

特徴③ 世界最大級の資産運用会社「ブラックロック」が運用

ブラックロックの運用資産残高は、グループ全体で総額5.15兆米ドル(約600兆円)*の資産を運用しており、運用機関資産残高ランキングは1位**となっています。ブラックロックは、インデックス・ファンドの先駆者として、また、世界最大級のインデックス運用会社としても確固たる地位を築いてきました。さらに、ETF(上場投資信託)の分野では、「iシェアーズ」というブランドで業界をけん引しています。

* 2016年12月末現在(適用レートはWMロイター 1米ドル=116.635円)

** 出所:タワーズワトソン 2015年ランキングレポート

ブラックロック本社
(ニューヨーク)



世界の運用機関資産残高ランキング

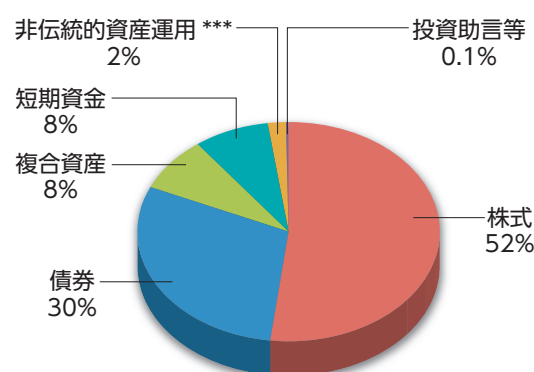
順位	運用会社	資産残高 (兆円)
1	ブラックロック	558.8
2	ヴァンガード・グループ	408.9
3	ステート・ストリート・グローバル	270.0
4	フィデリティ・インベストメンツ	244.9
5	アリアンツ・グループ	231.7

出所:Pensions & Investments "The P&I/Towers Watson World 500: WORLD'S LARGEST MONEY MANAGERS" よりブラックロックが集計

資産残高円換算レート:1米ドル=120.30円(WMロイター、2015年12月末時点)

注意事項:このランキングは、2015年12月31日現在のグローバルの資産運用残高4.64兆米ドルに基づいて作成されたものであり、将来を保証するものではありません。このランキング情報は2016年10月31日発行の紙面に掲載されており、さらにwww.pionline.com/specialreportsからもご覧いただけます。ランキングに関する情報の転載は許可が必要です。Pensions & Investments. copyright.

5.15兆米ドル(約600兆円)に及ぶさまざまな資産を運用



運用資産は2016年12月末現在

***コモディティ等を含みます。

※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

世界で培った資産運用を日本のお客さまにご提供

ブラックロックはグループ全体で、1,800名超の運用専門職を含む12,000人以上の社員が、グローバルな総合力を活用しながら、資産運用サービスに従事しています。

日本においては、ブラックロック・ジャパンとして、世界で培った先進的な商品・戦略・手法を日本のお客さまにご提供しています。

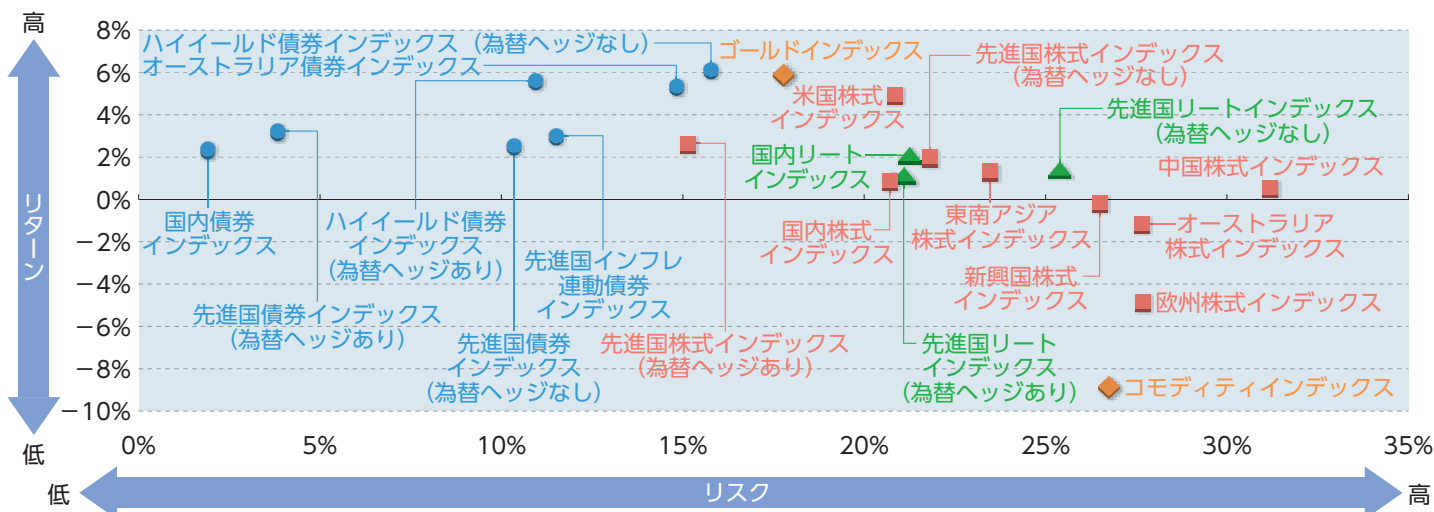


(2016年12月末現在)

投資ニーズに応じた、ポートフォリオ構築について

- i-mizuhoインデックスシリーズは、ファンドごとにリスク・リターン特性が異なります。
- ファンドを選ぶ際には、各ファンドの内容や特徴を十分に把握し、リターン(期待される収益性:どの程度の収益が見込めるか)のみならず、リスク(リターンの変動性:投資した元本が目減りしたり、予想外の損失を被る可能性を含む)も勘案することが重要です。一般に、高いリターンが期待される資産は、リスクも高い点に注意が必要です。
- お客様の投資スタイル・考え方にそって複数の種類の資産に投資することができます。組み合わせて投資する場合、分散投資によるリスク低減効果も期待できます。

■ 各資産のリスク・リターンの状況



出所:ブルームバーグおよび各指数算出会社

2007年2月末から2017年2月末までの指数値の月次データに基づき円ベースで計算しています。

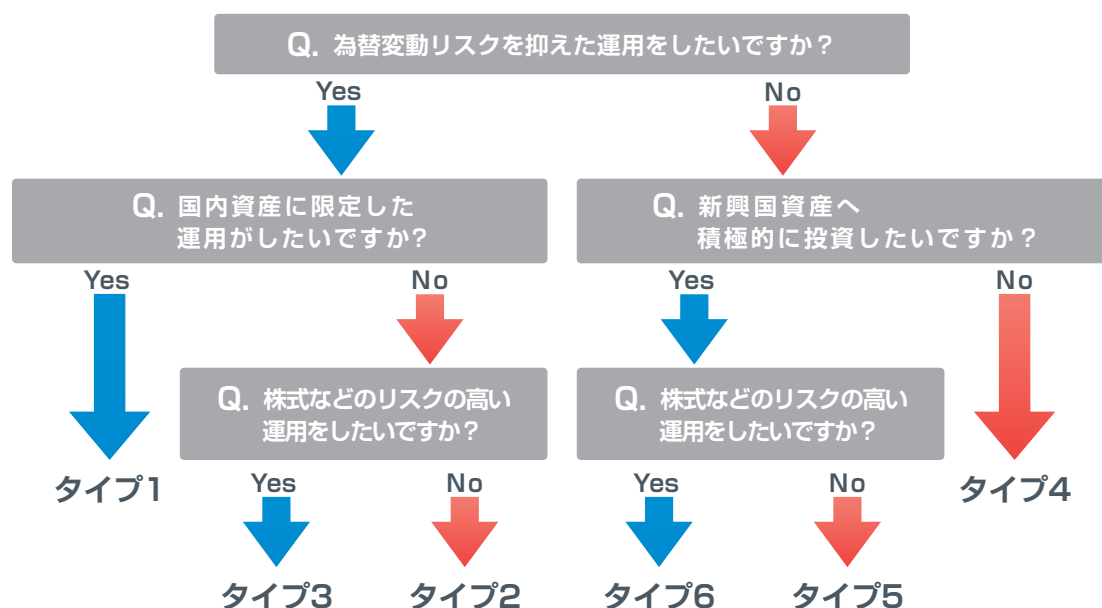
※リスクは期間中のデータを基に算出した標準偏差(年率)であり、各ファンドの平均的なリターンからどの程度かい離するか、値動きの振れ幅の度合いを示しています。

※各数値は過去の指数値データに基づき計算した参考値であり、各ファンドの将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。

なお、手数料・取引コスト等は勘案しておらず、今後の市場動向等により、上記のようなリスク・リターン特性は今後変化します。

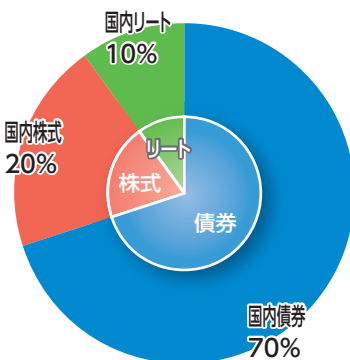
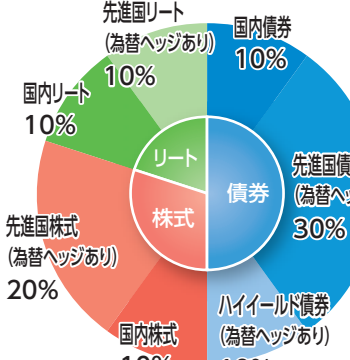
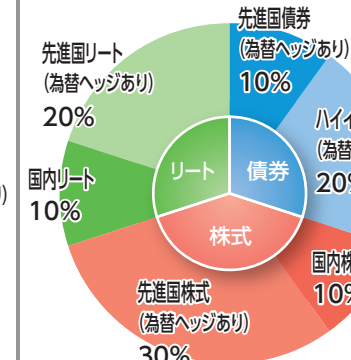
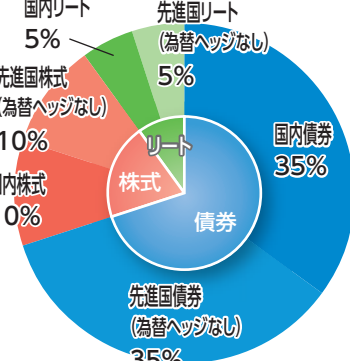
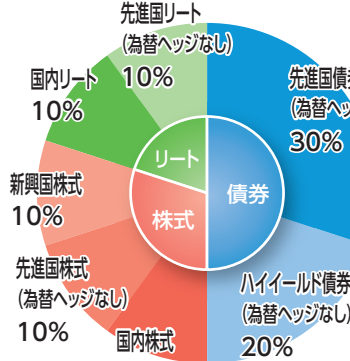
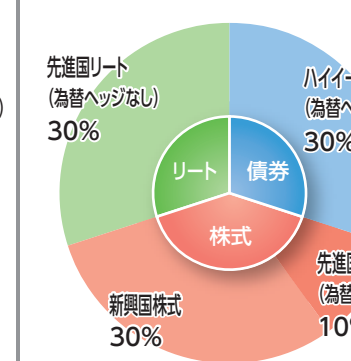
※上記で使用している指数値データについては、30ページの「本資料で使用した指数および指数値データについて」をご参照ください。

■ (ご参考) ポートフォリオ構築について検討される際のフローチャート



※上記は、多数の種類の資産の中から投資対象とする資産を選択する方法の一つの参考例として掲載しており、ブラックロック・ジャパンが各タイプを推奨するものではありません。各ファンドの取得のお申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面等を十分にご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

参考ポートフォリオ例

タイプ	[タイプ1]	[タイプ2]	[タイプ3]
参考ポートフォリオ			
リスクの程度	低	低	中
為替変動リスク	なし	概ねなし(フルヘッジ)	概ねなし(フルヘッジ)
実質外貨割合	0%	0%	0%
投資地域の割合	国内 100%	国内 30% 先進国 70%	国内 20% 先進国 80%
タイプ	[タイプ4]	[タイプ5]	[タイプ6]
参考ポートフォリオ			
リスクの程度	低	中	高
為替変動リスク	あり	あり	あり
実質外貨割合	50%	80%	100%
投資地域の割合	国内 50% 先進国 50%	国内 20% 先進国 70% 新興国 10%	先進国 70% 新興国 30%

※上記は、i-mizuhoインデックスシリーズの各ファンドを組み合わせることで保有することにより、複数の種類の資産への分散投資が実現可能なことを示す参考例として掲載しています。上記の参考ポートフォリオ例は、ブラックロック・ジャパンが想定するリスク・リターンを度合いを理論的・相対的に示したものであり、各ファンドの将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。今後の市場動向等により、上記のリスクの程度や実質外貨割合、投資地域の割合等のリスク特性は今後変化します。

※上記は、個別のお客様の実際の投資目的・金融財産の状況・リスク許容度等を勘案したものではありません。各ファンドの取得のお申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面等を十分にお読みいただき、各ファンドの特色およびファンドにかかる投資リスク・手数料等を十分にご確認のうえ、お客さまご自身でご判断ください。

※上記はあくまでも参考ポートフォリオ例であり、ブラックロック・ジャパンが各タイプの資産配分比率を推奨するものではありません。

※リスクの程度は、リスクの水準により次の通り相対的に分類しています。低:10%以下、中:10%超20%以下、高:20%超

リスクの水準は、過去の指数値データに基づき算出した参考値であり、市場環境により変化します。高いリターンが期待されるタイプはリスクが高い点に注意が必要です。

※リスクの程度・為替変動リスク・実質外貨割合・投資地域の割合については、各参考ポートフォリオ例の特徴を分りやすくご理解いただけるよう、便宜的に簡略化して表示しております。外国証券に投資して為替ヘッジを行う場合のリスク、ならびに為替変動リスク以外の投資リスクの詳細については、7ページ以降の各ファンドの概要および26~27ページの各リスクの説明をご参考ください。

※上記で使用している指数については、30ページの「本資料で使用した指数および指数値データについて」をご参照ください。

30ページの「本資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご覧ください。

■各タイプの説明

タイプ1: 債券を中心に国内資産のみで構成されるポートフォリオの例です。

タイプ2: 債券を半分程度とし、国内資産・為替ヘッジ付外貨資産のみで構成されるポートフォリオの例です。

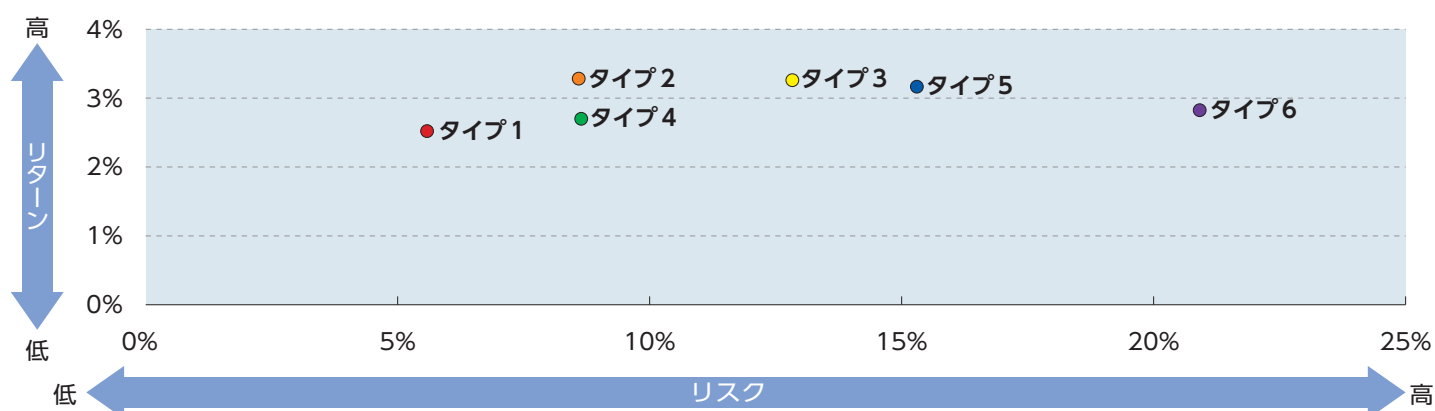
タイプ3: 債券・株式・リートに分散し、国内資産・為替ヘッジ付外貨資産のみで構成されるポートフォリオの例です。

タイプ4: 債券を中心に、先進国の資産のみで構成されるポートフォリオの例です。

タイプ5: 債券を半分程度とし、新興国資産も含めてグローバルに分散させたポートフォリオの例です。

タイプ6: 債券・株式・リートに分散し、新興国資産も含めて投資するポートフォリオの例です。

■各タイプのリスク・リターンの状況



出所：ブルームバーグおよび各指数算出会社

2007年2月末から2017年2月末までの指数値に基づき円ベースで計算しています。

※各数値は過去の指数値データに基づき計算した参考値であり、各ファンドの将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。

今後の市場動向等により、上記のようなリスク・リターン特性は今後変化します。

※上記で使用している指数値データについては、30ページの「本資料で使用した指数および指数値データについて」をご参照ください。

i-mizuho国内債券インデックス

 追加型投信／国内／
 債券／インデックス型

ファンドの目的

この投資信託は、円建ての債券市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

ファンドの特色

円建ての債券等(国債、社債等)を主要投資対象として、NOMURA-BPI 総合に連動する運用成果を目指します。

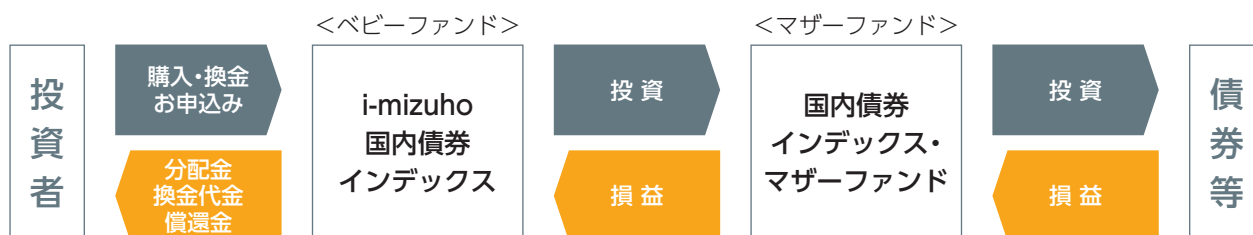
- 連動を目指す対象指数(ベンチマーク)の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託会社の判断により決定するものとします。
 ※上記のベンチマークは本書作成時現在のものであり、将来、上記の決定方針に基づき変更となる場合があります。
- 国内債券インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、円建ての債券市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。
 ※マザーファンドは、2017年5月3日付けで「ブラックロック国内債券インデックス・マザーファンド」より名称変更しました。
- 効率的な運用を目的として、公社債を主要投資対象とする上場投資信託証券(ブラックロック・グループが運用するETF等)への投資を行う場合があります。対象指数との連動を維持するため、先物取引等を利用することがあります。
 ※有価証券の貸付を行う場合があります。その場合、運用の委託先としてブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ・エイ、に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。

■ 「NOMURA-BPI総合」の著作権等について

NOMURA-BPI総合は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI総合の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI総合を用いて行われるブラックロック・ジャパン株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

ファンドの仕組み

当ファンドは国内債券インデックス・マザーファンドをマザーファンドとするファミリーファンド方式で運用します。



主な投資リスク

金 金利変動リスク **信** 信用リスク **デ** デリバティブ取引のリスク

リスクに関する詳細は、26～27ページをご参照ください。

i-mizuho先進国債券インデックス(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

 追加型投信/海外/
 債券/インデックス型

ファンドの目的

この投資信託は、日本を除く先進国の国債市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

ファンドの特色

- 1 日本を除く先進国の国債等を主要投資対象として、シティ世界国債インデックス(除く日本)に連動する運用成果を目指します。

為替ヘッジあり	シティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ円ベース)
為替ヘッジなし	シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)*

*シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)は、委託会社がシティ世界国債インデックス(除く日本)に為替(株式会社三菱東京UFJ銀行仲値)を乗じて算出したものです。

- 連動を目指す対象指数(ベンチマーク)の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託会社の判断により決定するものとします。
※上記のベンチマークは本書作成時現在のものであり、将来、上記の決定方針に基づき変更となる場合があります。
- 先進国債券インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を除く先進国の国債市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。
※マザーファンドは、2017年5月3日付けで「ブラックロック先進国債券インデックス・マザーファンド」より名称変更しました。
- 効率的な運用を目的として、国債を主要投資対象とする上場投資信託証券(ブラックロック・グループが運用するETF等)への投資を行う場合があります。対象指数との連動を維持するため、先物取引等を利用することがあります。
※有価証券の貸付を行う場合があります。その場合、運用の委託先としてブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ、エイ、に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。

- 2 外貨建資産の為替ヘッジについては、以下の通りとします。

為替ヘッジあり	原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
為替ヘッジなし	原則として為替ヘッジを行いません。

■「シティ世界国債インデックス(除く日本)」の著作権等について

シティ世界国債インデックスは、シティグループ・インデックスLLCが公表する、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを指数化したものです。同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他の一切の権利は、シティグループ・インデックスLLCに帰属します。

ファンドの仕組み

当ファンドは先進国債券インデックス・マザーファンドをマザーファンドとするファミリーファンド方式で運用します。



主な投資リスク

- 金 金利変動リスク
 信 信用リスク
 為 為替変動リスク
 カ カントリー・リスク
 デ デリバティブ取引のリスク

リスクに関する詳細は、26～27ページをご参照ください。

30ページの「本資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご覧ください。

i-mizuho先進国インフレ連動債券インデックス

 追加型投信／海外／
 債券／インデックス型

ファンドの目的

この投資信託は、日本を除く先進国のインフレ連動債*市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

*インフレ連動債とは、一般的に元本が物価の変動に応じて増減するため、物価が上昇すれば元本が増加し、物価が下落すれば元本が減少する債券です。利息の額(クーポン)も各利払い時毎に物価の変動に応じて変化します。

ファンドの特色

1 日本を除く先進国のインフレ連動債等を主要投資対象として、ブルームバーグ・バークレイズ世界物価連動国債インデックス(除く日本、円換算ベース)*に連動する運用成果を目指します。

*ブルームバーグ・バークレイズ世界物価連動国債インデックス(除く日本、円換算ベース)は、委託会社がブルームバーグ・バークレイズ世界物価連動国債インデックス(除く日本)に為替(株式会社三菱東京UFJ銀行仲値)を乗じて算出したものです。

■ 連動を目指す対象指数(ベンチマーク)の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託会社の判断により決定するものとします。

※上記のベンチマークは本書作成時現在のものであり、将来、上記の決定方針に基づき変更となる場合があります。

■ 効率的な運用を目的として、公社債を主要投資対象とする上場投資信託証券(ブラックロック・グループが運用するETF等)への投資を行う場合があります。対象指数との連動を維持するため、先物取引等を利用することがあります。

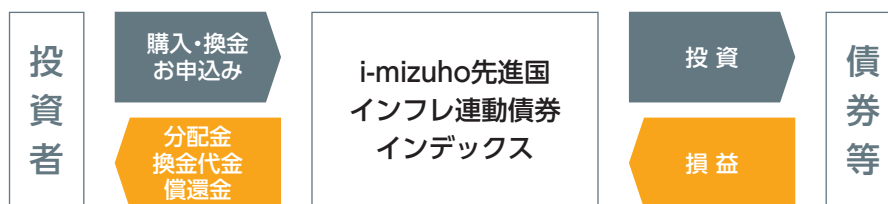
※有価証券の貸付を行う場合があります。その場合、運用の委託先としてブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ・エイ、に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。

2 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■「ブルームバーグ・バークレイズ世界物価連動国債インデックス(除く日本)」の著作権等について

ブルームバーグ・バークレイズ世界物価連動国債インデックスは、ブルームバーグL.P.が開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、世界の物価連動国債市場のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はブルームバーグL.P.に帰属します。なお、同指数の公表、採用国およびその基準等については今後予告なく中止、変更される可能性があります。

ファンドの仕組み



主な投資リスク

金 金利変動リスク **信** 信用リスク **イ** インフレ連動債への投資リスク

為 為替変動リスク **カ** カントリー・リスク **デ** デリバティブ取引のリスク

リスクに関する詳細は、26～27ページをご参照ください。

i-mizuhoオーストラリア債券インデックス

 追加型投信／海外／
 債券／インデックス型

ファンドの目的

この投資信託は、豪ドル建て債券市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

ファンドの特色

1 豪ドル建て債券等(国債、社債等)を主要投資対象として、ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(円換算ベース)*に連動する運用成果を目指します。

*ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(円換算ベース)は、委託会社がブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックスに為替(株式会社三菱東京UFJ銀行仲値)を乗じて算出したものです。

■連動を目指す対象指数(ベンチマーク)の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託会社の判断により決定するものとします。

※上記のベンチマークは本書作成時現在のものであり、将来、上記の決定方針に基づき変更となる場合があります。

■効率的な運用を目的として、公社債を主要投資対象とする上場投資信託証券(ブラックロック・グループが運用するETF等)への投資を行う場合があります。対象指数との連動を維持するため、先物取引等を利用することがあります。

※有価証券の貸付を行う場合があります。その場合、運用の委託先としてブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ・エイ、に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。

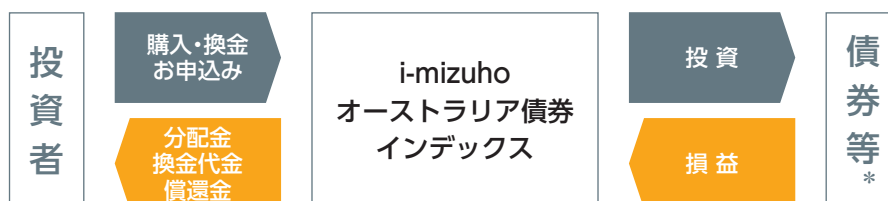
2 ブラックロック・インベストメント・マネジメント(オーストラリア)リミテッド(投資顧問会社)に外国有価証券等の運用に関する権限を委託します。

3 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■「ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス」の著作権等について

「ブルームバーグ」および「ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エルピーおよびその関連会社(以下総称して「ブルームバーグ」といいます。)の商標またはサービスマークです。当該インデックスのすべての所有権はブルームバーグまたはその使用許諾者にあります。

ファンドの仕組み



*公社債を主要投資対象とする上場投資信託証券(ETF)を含みます。

主な投資リスク

金 金利変動リスク **信** 信用リスク **為** 為替変動リスク **カ** カントリー・リスク
デ デリバティブ取引のリスク

リスクに関する詳細は、26～27ページをご参照ください。

i-mizuhoハイイールド債券インデックス(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

 追加型投信/海外/
 債券/インデックス型

ファンドの目的

この投資信託は、米ドル建てハイイールド債*市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

*ハイイールド債とは、信用格付が低い(BB格相当以下)、または格付されていない債券で、投資適格債(BBB格相当以上)と比較して、価格変動のリスクが大きい分、高い利回りが期待される債券のことをいいます。

ファンドの特色

1 マークイット iBoxx 米ドル建てリキッド・ハイイールド・キャップト指数に連動する運用成果を目指します。

為替ヘッジあり	マークイット iBoxx 米ドル建てリキッド・ハイイールド・キャップト指数(円ヘッジ円ベース)
為替ヘッジなし	マークイット iBoxx 米ドル建てリキッド・ハイイールド・キャップト指数(円換算ベース)*

*マークイット iBoxx 米ドル建てリキッド・ハイイールド・キャップト指数(円換算ベース)は、委託会社がマークイット iBoxx 米ドル建てリキッド・ハイイールド・キャップト指数に為替(株式会社三菱東京UFJ銀行仲値)を乗じて算出したものです。

■ 連動を目指す対象指数(ベンチマーク)の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託会社の判断により決定するものとします。

※上記のベンチマークは本書作成時現在のものであり、将来、上記の決定方針に基づき変更となる場合があります。

2 主としてベンチマークに連動する運用成果を目指す有価証券を主要投資対象とします。

■ 効率的な運用を目的として、ハイイールド債を主要投資対象とする上場投資信託証券(ブラックロック・グループが運用するETF等)への投資を行う場合があります。

<投資対象候補である有価証券の概要>(本書作成日現在)

名称	iシェアーズ 米ドル建てハイイールド社債 UCITS ETF		
投資目的	ファンドの投資目的は、キャピタルゲイン、インカムゲインの双方を考慮し、マークイット iBoxx 米ドル建てリキッド・ハイイールド・キャップト指数のリターンに連動したトータルリターンを投資家に提供することです。		
運用会社	ブラックロック・アドバイザーズ(UK)リミテッド		
上場取引所	ロンドン証券取引所	組入銘柄数	988(2016年1月末現在)

※上記有価証券への投資は、ハイイールド債券インデックス・マザーファンド受益証券を通じて行います。なお、マザーファンドは、2017年5月3日付で「ブラックロック・ハイイールド債券インデックス・マザーファンド」より名称変更しました。

※上記の投資対象候補およびその概要は、今後変更となる場合があります。

※有価証券の貸付を行う場合があります。その場合、運用の委託先としてブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ、エイ、に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。

3 外貨建資産の為替ヘッジについては、以下の通りとします。

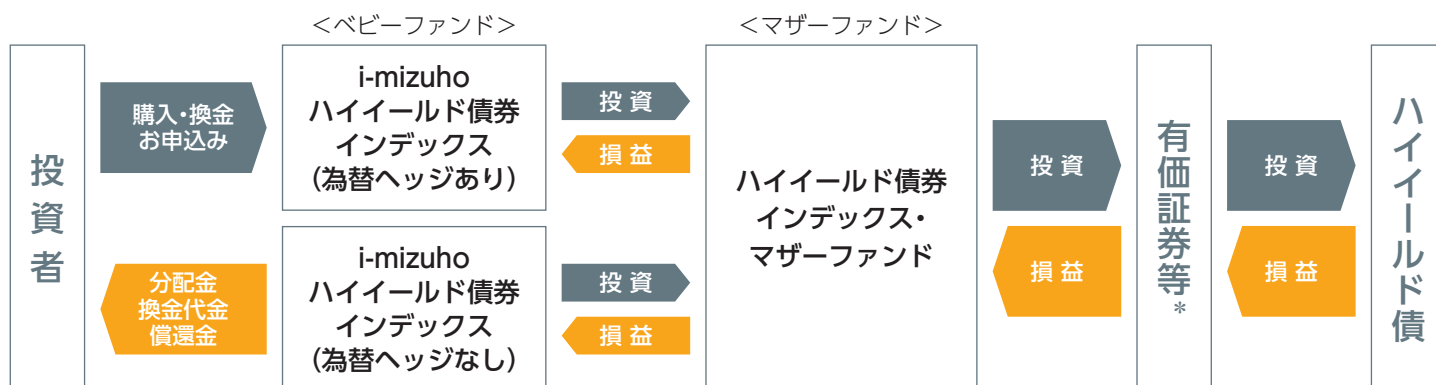
為替ヘッジあり	原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
為替ヘッジなし	原則として為替ヘッジを行いません。

■「マークイット iBoxx 米ドル建てリキッド・ハイイールド・キャップト指数」の著作権等について

マークイット iBoxx 米ドル建てリキッド・ハイイールド・キャップト指数は、マークイット・インディセズ・リミテッド(以下、同社)が開発、計算した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、同社に帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

ファンドの仕組み

当ファンドはハイイールド債券インデックス・マザーファンドをマザーファンドとするファミリーファンド方式で運用します。



*ハイイールド債を主要投資対象とする上場投資信託証券(ETF)を含みます。

主な投資リスク

金 金利変動リスク **信** 信用リスク **低** 低格付債券への投資リスク

為 為替変動リスク **カ** カントリー・リスク **流** 流動性リスク

デ デリバティブ取引のリスク **上** 上場投資信託証券への投資に関する留意点

リスクに関する詳細は、26～27ページをご参照ください。

i-mizuho国内株式インデックス

 追加型投信／国内／
 株式／インデックス型

ファンドの目的

この投資信託は、日本の株式市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

ファンドの特色

日本の株式等を主要投資対象として、日経平均株価(日経225)に連動する運用成果を目指します。

- 連動を目指す対象指数(ベンチマーク)の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託会社の判断により決定するものとします。
 ※上記のベンチマークは本書作成時現在のものであり、将来、上記の決定方針に基づき変更となる場合があります。
- 国内株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本の株式市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。
 ※マザーファンドは、2017年5月3日付けで「ブラックロック国内株式インデックス・マザーファンド」より名称変更しました。
- 効率的な運用を目的として、株式を主要投資対象とする上場投資信託証券(ブラックロック・グループが運用するETF等)への投資を行う場合があります。対象指数との連動を維持するため、先物取引等を利用することがあります。
 ※有価証券の貸付を行う場合があります。その場合、運用の委託先としてブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ.エイ.に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。

■ 「日経平均株価(日経225)」の著作権等について

日経平均株価(日経225)に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は本商品を保証するものではなく、本商品について一切の責任を負いません。

ファンドの仕組み

当ファンドは国内株式インデックス・マザーファンドをマザーファンドとするファミリーファンド方式で運用します。



* 株式を主要投資対象とする上場投資信託証券(ETF)を含みます。

主な投資リスク

株 株価変動リスク デリバティブ取引のリスク

リスクに関する詳細は、26～27ページをご参照ください。

i-mizuho先進国株式インデックス(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

 追加型投信/海外/
 株式/インデックス型

ファンドの目的

この投資信託は、日本を除く先進国の株式市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

ファンドの特色

1 日本を除く先進国の株式等を主要投資対象として、MSCIコクサイ指数に連動する運用成果を目指します。

為替ヘッジあり	MSCIコクサイ指数(円ヘッジ円ベース)
為替ヘッジなし	MSCIコクサイ指数(円換算ベース)*

*MSCIコクサイ指数(円換算ベース)は、委託会社がMSCIコクサイ指数に為替(株式会社三菱東京UFJ銀行仲値)を乗じて算出したものです。

- 連動を目指す対象指数(ベンチマーク)の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託会社の判断により決定するものとします。
 ※上記のベンチマークは本書作成時現在のものであり、将来、上記の決定方針に基づき変更となる場合があります。
- 先進国株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を除く先進国の株式市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。
 ※マザーファンドは、2017年5月3日付けで「ブラックロック先進国株式インデックス・マザーファンド」より名称変更しました。
- 効率的な運用を目的として、株式を主要投資対象とする上場投資信託証券(ブラックロック・グループが運用するETF等)への投資を行う場合があります。対象指数との連動を維持するため、先物取引等を利用することがあります。
 ※有価証券の貸付を行う場合があります。その場合、運用の委託先としてブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ.エイ.に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。

2 外貨建資産の為替ヘッジについては、以下の通りとします。

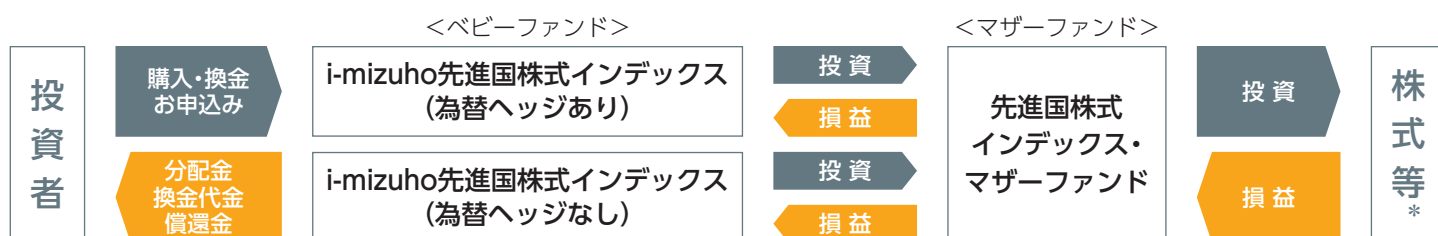
為替ヘッジあり	原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
為替ヘッジなし	原則として為替ヘッジを行いません。

■「MSCIコクサイ指数」の著作権等について

MSCIコクサイ指数は、MSCI Inc.が開発、計算した株式指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

ファンドの仕組み

当ファンドは先進国株式インデックス・マザーファンドをマザーファンドとするファミリーファンド方式で運用します。



*株式を主要投資対象とする上場投資信託証券(ETF)を含みます。

主な投資リスク

株 株価変動リスク **為** 為替変動リスク **カ** カントリー・リスク
デ デリバティブ取引のリスク

リスクに関する詳細は、26～27ページをご参照ください。

30ページの「本資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご覧ください。

i-mizuho米国株式インデックス

 追加型投信／海外／
 株式／インデックス型

ファンドの目的

この投資信託は、米国の株式市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

ファンドの特色

- 1 米国の株式等を主要投資対象として、S&P500指数(円換算ベース)*に連動する運用成果を目指します。
 *S&P500指数(円換算ベース)は、委託会社がS&P500指数に為替(株式会社三菱東京UFJ銀行仲値)を乗じて算出したものです。
 - 連動を目指す対象指数(ベンチマーク)の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託会社の判断により決定するものとします。
 ※上記のベンチマークは本書作成時現在のものであり、将来、上記の決定方針に基づき変更となる場合があります。
 - 効率的な運用を目的として、株式を主要投資対象とする上場投資信託証券(ブラックロック・グループが運用するETF等)への投資を行う場合があります。対象指数との連動を維持するため、先物取引等を利用することがあります。
 ※有価証券の貸付を行う場合があります。その場合、運用の委託先としてブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ・エイ、に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。

- 2 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■ [S&P500指数]の著作権等について

S&P500指数は、スタンダード・プアーズ・フィナンシャル・サービシズ・エル・エル・シー(以下、同社)が開発、計算した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、同社に帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

ファンドの仕組み



*株式を主要投資対象とする上場投資信託証券(ETF)を含みます。

主な投資リスク

株 株価変動リスク **為** 為替変動リスク **カ** カントリー・リスク

デ デリバティブ取引のリスク

リスクに関する詳細は、26～27ページをご参照ください。

i-mizuho 欧州株式インデックス

 追加型投信／海外／
 株式／インデックス型

ファンドの目的

この投資信託は、欧州の株式市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

ファンドの特色

1 欧州の株式等を主要投資対象として、ユーロストックス50指数(円換算ベース)*に連動する運用成果を目指します。

*ユーロストックス50指数(円換算ベース)は、委託会社がユーロストックス50指数に為替(株式会社三菱東京UFJ銀行仲値)を乗じて算出したものです。

■当ファンドの主要投資対象国(本書作成日現在)

フランス、ドイツ、スペイン、オランダ、イタリア等

*投資対象国は今後変更になる場合があります。

■連動を目指す対象指数(ベンチマーク)の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託会社の判断により決定するものとします。

※上記のベンチマークは本書作成時現在のものであり、将来、上記の決定方針に基づき変更となる場合があります。

■効率的な運用を目的として、株式を主要投資対象とする上場投資信託証券(ブラックロック・グループが運用するETF等)への投資を行う場合があります。対象指数との連動を維持するため、先物取引等を利用することがあります。

※有価証券の貸付を行う場合があります。その場合、運用の委託先としてブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ、エイ、に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。

2 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■「ユーロストックス50指数」の著作権等について

ユーロストックス50指数は、ストックス・リミテッドの商標であり、ブラックロックの使用のためにライセンスされているものです。本商品はストックス・リミテッドによって資金提供、保証、売買または販売促進されるものではなく、その投資成果等についても責任を負いません。

ファンドの仕組み



*株式を主要投資対象とする上場投資信託証券(ETF)を含みます。

主な投資リスク

株 株価変動リスク **為** 為替変動リスク **カ** カントリー・リスク

デ デリバティブ取引のリスク

リスクに関する詳細は、26～27ページをご参照ください。

i-mizuho オーストラリア株式インデックス

 追加型投信／海外／
 株式／インデックス型

ファンドの目的

この投資信託は、オーストラリアの株式市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

ファンドの特色

1 オーストラリアの株式等を主要投資対象として、S&P／ASX200指数(円換算ベース)*に連動する運用成果を目指します。

*S&P／ASX200指数(円換算ベース)は、委託会社がS&P／ASX200指数に為替(株式会社三菱東京UFJ銀行仲値)を乗じて算出したものです。

■連動を目指す対象指数(ベンチマーク)の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託会社の判断により決定するものとします。

※上記のベンチマークは本書作成時現在のものであり、将来、上記の決定方針に基づき変更となる場合があります。

■効率的な運用を目的として、株式を主要投資対象とする上場投資信託証券(ブラックロック・グループが運用するETF等)への投資を行う場合があります。対象指数との連動を維持するため、先物取引等を利用することがあります。

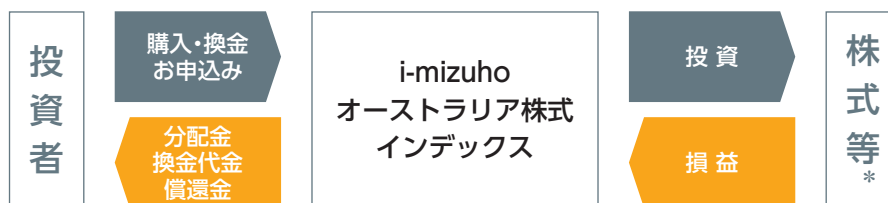
※有価証券の貸付を行う場合があります。その場合、運用の委託先としてブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ・エイ、に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。

2 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■[S&P／ASX200指数]の著作権等について

S&P／ASX200指数は、S&PおよびASX(以下、同社)が開発、計算した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、同社に帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

ファンドの仕組み



*株式を主要投資対象とする上場投資信託証券(ETF)を含みます。

主な投資リスク

株 株価変動リスク **為** 為替変動リスク **カ** カントリー・リスク

デ デリバティブ取引のリスク

リスクに関する詳細は、26～27ページをご参照ください。

i-mizuho新興国株式インデックス

 追加型投信／海外／
 株式／インデックス型

ファンドの目的

この投資信託は、新興国の株式市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

ファンドの特色

1 新興国の株式等(預託証券を含みます。)を主要投資対象として、MSCIEマージング・マーケット・インデックス(円換算ベース)*に連動する運用成果を目指します。

*MSCIEマージング・マーケット・インデックス(円換算ベース)は、委託会社がMSCIEマージング・マーケット・インデックスに為替(株式会社三菱東京UFJ銀行仲値)を乗じて算出したものです。

■当ファンドの主要投資対象国(本書作成日現在)

中国、韓国、台湾、インド、南アフリカ、ブラジル、メキシコ等

*投資対象国は今後変更になる場合があります。

■連動を目指す対象指数(ベンチマーク)の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託会社の判断により決定するものとします。

※上記のベンチマークは本書作成時現在のものであり、将来、上記の決定方針に基づき変更となる場合があります。

■新興国株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、新興国の株式市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

※マザーファンドは、2017年5月3日付けで「ブラックロック新興国株式インデックス・マザーファンド」より名称変更しました。

■効率的な運用を目的として、株式を主要投資対象とする上場投資信託証券(ブラックロック・グループが運用するETF等)への投資を行う場合があります。対象指数との連動を維持するため、先物取引等を利用することがあります。

※有価証券の貸付を行う場合があります。その場合、運用の委託先としてブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ、エイ、に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。

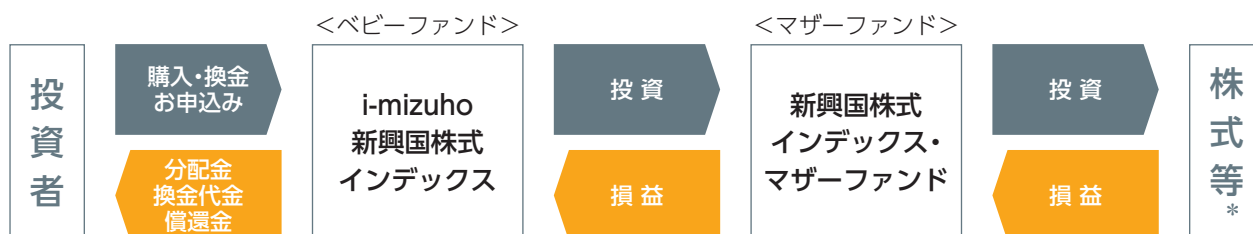
2 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■「MSCIEマージング・マーケット・インデックス」の著作権等について

MSCIEマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発、計算した株式指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

ファンドの仕組み

当ファンドは新興国株式インデックス・マザーファンドをマザーファンドとするファミリーファンド方式で運用します。



*株式を主要投資対象とする上場投資信託証券(ETF)を含みます。

主な投資リスク

株 株価変動リスク **カ** カントリー・リスク **為** 為替変動リスク

デ デリバティブ取引のリスク

リスクに関する詳細は、26～27ページをご参照ください。

i-mizuho 東南アジア株式インデックス

 追加型投信／海外／
 株式／インデックス型

ファンドの目的

この投資信託は、東南アジアの株式市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

ファンドの特色

1 東南アジアの株式等(預託証券を含みます。)を主要投資対象として、FTSEアセアン40インデックス(円換算ベース)*に連動する運用成果を目指します。

*FTSEアセアン40インデックス(円換算ベース)は、委託会社がFTSEアセアン40インデックスに為替(株式会社三菱東京UFJ銀行仲値)を乗じて算出したものです。

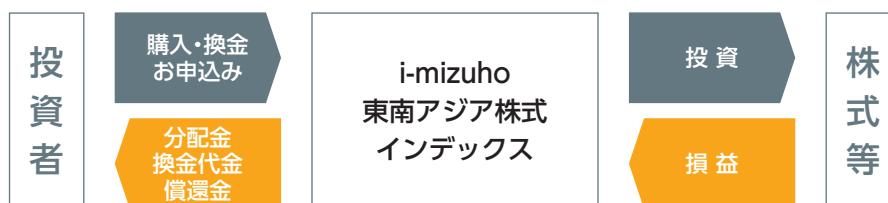
- 当ファンドの主要投資対象国(本書作成日現在)
シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピン等
※投資対象国は今後変更になる場合があります。
- 連動を目指す対象指数(ベンチマーク)の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託会社の判断により決定するものとします。
※上記のベンチマークは本書作成時現在のものであり、将来、上記の決定方針に基づき変更となる場合があります。
- 効率的な運用を目的として、株式を主要投資対象とする上場投資信託証券(ブラックロック・グループが運用するETF等)への投資を行う場合があります。対象指数との連動を維持するため、先物取引等を利用することがあります。
※有価証券の貸付を行う場合があります。その場合、運用の委託先としてブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ.エイ.に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。

2 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■ 「FTSEアセアン40インデックス」の著作権等について

FTSEアセアン40インデックスは、FTSEが公表する指数であり、その指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はFTSEに属します。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

ファンドの仕組み



主な投資リスク

株 株価変動リスク **カ** カントリー・リスク **為** 為替変動リスク
デ デリバティブ取引のリスク

リスクに関する詳細は、26～27ページをご参照ください。

i-mizuho中国株式インデックス

 追加型投信／海外／
 株式／インデックス型

ファンドの目的

この投資信託は、中国の株式市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

ファンドの特色

1 中国の株式等(預託証券を含みます。)を主要投資対象として、FTSE中国50インデックス(円換算ベース)*に連動する運用成果を目指します。

*FTSE中国50インデックス(円換算ベース)は、委託会社がFTSE中国50インデックスに為替(株式会社三菱東京UFJ銀行仲値)を乗じて算出したものです。なお、当該指数は、2014年9月22日付で、FTSE中国25インデックス(円換算ベース)から移行されました。

- 当ファンドは、香港証券取引所に上場している中国の株式を主要投資対象とします(本書作成日現在)。
- 連動を目指す対象指数(ベンチマーク)の選定および変更に当たっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託会社の判断により決定するものとします。
 ※上記のベンチマークは本書作成時現在のものであり、将来、上記の決定方針に基づき変更となる場合があります。
- 効率的な運用を目的として、株式を主要投資対象とする上場投資信託証券(ブラックロック・グループが運用するETF等)への投資を行う場合があります。対象指数との連動を維持するため、先物取引等を利用することがあります。
 ※有価証券の貸付を行う場合があります。その場合、運用の委託先としてブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ・エイ、に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。

2 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■ [FTSE中国50インデックス]および[FTSE中国25インデックス]の著作権等について

FTSE中国50インデックスおよびFTSE中国25インデックスは、FTSEが公表する指数であり、その指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はFTSEに属します。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

ファンドの仕組み



主な投資リスク

株 株価変動リスク **カ** カントリー・リスク **為** 為替変動リスク
デ デリバティブ取引のリスク

リスクに関する詳細は、26～27ページをご参照ください。

i-mizuho国内リートインデックス

追加型投信／国内／
不動産投信／インデックス型

ファンドの目的

この投資信託は、日本の不動産投資信託証券(リート)市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

ファンドの特色

日本の不動産投資信託証券等を主要投資対象として、S&P J-REIT指数(配当込み)に連動する運用成果を目指します。

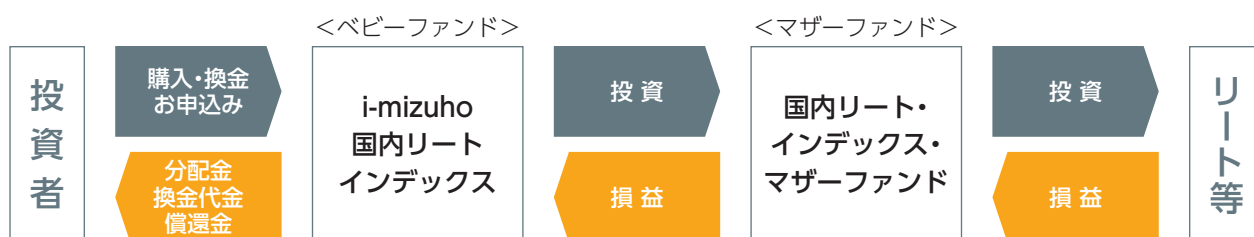
- 連動を目指す対象指数(ベンチマーク)の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託会社の判断により決定するものとします。
※上記のベンチマークは本書作成時現在のものであり、将来、上記の決定方針に基づき変更となる場合があります。
- 国内リート・インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本の不動産投資信託証券市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。
※マザーファンドは、2017年5月3日付けで「ブラックロック国内リート・インデックス・マザーファンド」より名称変更しました。
- 効率的な運用を目的として、不動産投資信託証券を主要投資対象とする上場投資信託証券(ブラックロック・グループが運用するETF等)への投資を行う場合があります。対象指数との連動を維持するため、先物取引等を利用することがあります。
※有価証券の貸付を行う場合があります。その場合、運用の委託先としてブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ.エイ.に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。

■ 「S&P J-REIT指数(配当込み)」の著作権等について

S&P J-REIT指数は、スタンダード・アンド・プアーズ・フィナンシャル・サービスズ・エル・エル・シー(以下、同社)が開発、計算した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、同社に帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

ファンドの仕組み

当ファンドは国内リート・インデックス・マザーファンドをマザーファンドとするファミリーファンド方式で運用します。



主な投資リスク

不動産投資信託証券への投資リスク デリバティブ取引のリスク

リスクに関する詳細は、26～27ページをご参照ください。

i-mizuho先進国リートインデックス(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

 追加型投信/海外/
 不動産投信/インデックス型

ファンドの目的

この投資信託は、日本を除く先進国の不動産投資信託証券(リート)市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

ファンドの特色

- 1 日本を除く先進国の不動産投資信託証券等を主要投資対象として、S&P先進国REIT指数(除く日本、税引後配当込み)に連動する運用成果を目指します。

為替ヘッジあり	S&P先進国REIT指数(除く日本、税引後配当込み、円ヘッジ円ベース)
為替ヘッジなし	S&P先進国REIT指数(除く日本、税引後配当込み、円換算ベース)*

*S&P先進国REIT指数(除く日本、税引後配当込み、円換算ベース)は、委託会社がS&P先進国REIT指数(除く日本、税引後配当込み)に為替(株式会社三菱東京UFJ銀行仲値)を乗じて算出したものです。

- 連動を目指す対象指数(ベンチマーク)の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託会社の判断により決定するものとします。

※上記のベンチマークは本書作成時現在のものであり、将来、上記の決定方針に基づき変更となる場合があります。

- 先進国リート・インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を除く先進国の不動産投資信託証券市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

※マザーファンドは、2017年5月3日付けで「ブラックロック先進国リート・インデックス・マザーファンド」より名称変更しました。

- 効率的な運用を目的として、不動産投資信託証券を主要投資対象とする上場投資信託証券(ブラックロック・グループが運用するETF等)への投資を行う場合があります。対象指数との連動を維持するため、先物取引等を利用することがあります。

※有価証券の貸付を行う場合があります。その場合、運用の委託先としてブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ.エイ.に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。

- 2 外貨建資産の為替ヘッジについては、以下の通りとします。

為替ヘッジあり	原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
為替ヘッジなし	原則として為替ヘッジを行いません。

■「S&P先進国REIT指数(除く日本、税引後配当込み)」の著作権等について

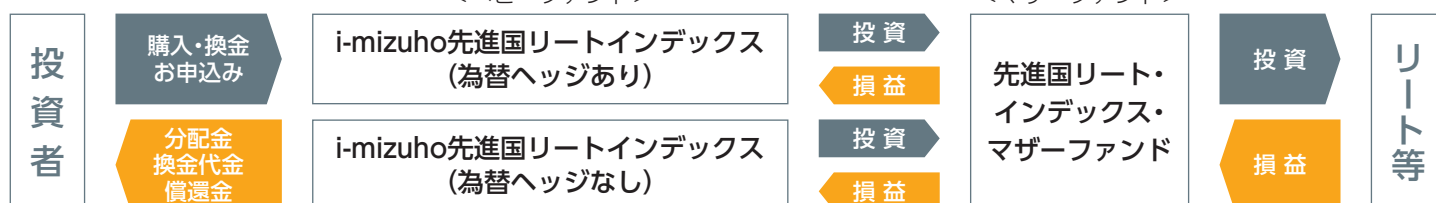
S&P先進国REIT指数は、スタンダード&プアーズ フィナンシャル サービスズ エル エル シー(以下、同社)が開発、計算した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、同社に帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

ファンドの仕組み

当ファンドは先進国リート・インデックス・マザーファンドをマザーファンドとするファミリーファンド方式で運用します。

<ベビーファンド>

<マザーファンド>



主な投資リスク

- 不 不動産投資信託証券への投資リスク
 為 為替変動リスク
 カ カントリー・リスク
 デ デリバティブ取引のリスク

リスクに関する詳細は、26~27ページをご参照ください。

i-mizuhoコモディティインデックス

 追加型投信／海外／
 その他資産(商品)／インデックス型

ファンドの目的

この投資信託は、商品(コモディティ)*市場を代表する指数に連動する運用成果を目指します。

*商品(コモディティ)とは、エネルギー類(原油、天然ガス等)、貴金属類(金、銀等)、農産物類(小麦、とうもろこし、大豆等)等のことを指し、世界の商品取引所で先物取引が行われています。

ファンドの特色

1 S&P GSCIトータルリターン指数(円換算ベース)*に連動する運用成果を目指します。

*S&P GSCIトータルリターン指数(円換算ベース)は、委託会社がS&P GSCIトータルリターン指数に為替(株式会社三菱東京UFJ銀行仲値)を乗じて算出したものです。

■連動を目指す対象指数(ベンチマーク)の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託会社の判断により決定するものとします。

※上記のベンチマークは本書作成時現在のものであり、将来、上記の決定方針に基づき変更となる場合があります。

2 主としてベンチマークに連動する運用成果を目指す有価証券を主要投資対象とします。

■効率的な運用を目的として、商品指数に連動する上場投資信託証券(ブラックロック・グループが運用するETF等)への投資を行う場合があります。

＜投資対象候補である有価証券の概要＞(本書作成日現在)

名称	iShares S&P GSCIコモディティ・インデックス・トラスト
当トラストの目的	当トラストは、iシェアーズ S&P GSCIコモディティ・インデックス・インベスティング・プールへの投資を通じて、S&P GSCIトータルリターン指数の投資成果に概ね対応する投資成果(費用および負債控除前)をあげることを目的とします。
管理会社	ブラックロック・アセット・マネジメント・インターナショナル・インク
上場取引所	ニューヨーク証券取引所 Arca

※上記の投資対象候補およびその概要は、今後変更となる場合があります。

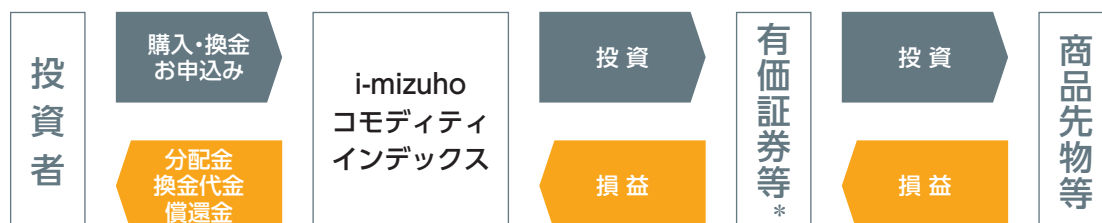
※有価証券の貸付を行う場合があります。その場合、運用の委託先としてブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ、エイ、に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。

3 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■「S&P GSCIトータルリターン指数」の著作権等について

S&P GSCIトータルリターン指数は、S&P Dow Jones Indices LLC(以下、同社)が開発、計算した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、同社に帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

ファンドの仕組み



*商品指数に連動する上場投資信託証券(ETF)を含みます。

主な投資リスク

商 商品市場への投資リスク **為** 為替変動リスク **デ** デリバティブ取引のリスク

上 上場投資信託証券への投資に関する留意点

リスクに関する詳細は、26～27ページをご参照ください。

30ページの「本資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご覧ください。

i-mizuhoゴールドインデックス

 追加型投信／海外／
 その他資産(商品)／インデックス型

ファンドの目的

この投資信託は、金現物市場を代表する指標に連動する運用成果を目指します。

ファンドの特色

- 1** LBMA金価格(円換算ベース)*に連動する運用成果を目指します。
 - *LBMA金価格は、ICE Benchmark Administration Limitedによってロンドン時間の午後に公表される金現物価格を指し、LBMA金価格(円換算ベース)は、委託会社がLBMA金価格に為替(株式会社三菱東京UFJ銀行仲値)を乗じて算出したものです。
 - 連動を目指す対象指標(ベンチマーク)の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託会社の判断により決定するものとします。
 - ※上記のベンチマークは本書作成時現在のものであり、将来、上記の決定方針に基づき変更となる場合があります。

- 2** 主としてベンチマークに連動する運用成果を目指す有価証券を主要投資対象とします。
 - 効率的な運用を目的として、金現物を主要投資対象とする上場投資信託証券(ブラックロック・グループが運用するETF等)への投資を行う場合があります。

<投資対象候補である有価証券の概要> (本書作成日現在)

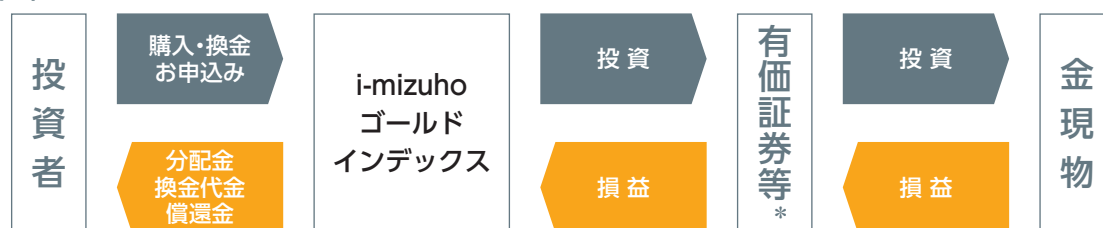
名称	iShares ゴールド・トラスト
当トラストの目的	当トラストの目的は、一定時点においてトラストが保有する金の価格からトラストの費用および負債を控除した値を常に反映させることです。
管理会社	iShares デラウェア・トラスト・スポンサー・エルエルシー
上場取引所	ニューヨーク証券取引所 Arca

※上記の投資対象候補およびその概要は、今後変更となる場合があります。

※有価証券の貸付を行う場合があります。その場合、運用の委託先としてブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ・エイ、に有価証券の貸付の指図に関する権限の全部または一部を委託します。

- 3** 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

ファンドの仕組み



*金現物を主要投資対象とする上場投資信託証券(ETF)を含みます。

主な投資リスク

- 金 金への投資リスク
 為 為替変動リスク
 デ デリバティブ取引のリスク
 上 上場投資信託証券への投資に関する留意点

リスクに関する詳細は、26～27ページをご参照ください。

各ファンドの連動を目指す対象指数(ベンチマーク)とその概要(2017年3月末現在)

債券	連動を目指す対象指数(ベンチマーク)	概要
i-mizuho国内債券インデックス	NOMURA-BPI総合	野村証券株式会社が算出・提供しているわが国の債券市場の代表的なパフォーマンス指数で広く利用されています。国債に加え、地方債、政府保証債、事業債や円建外債等で構成されており。
i-mizuho先進国債券インデックス(為替ヘッジあり)	シティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ円ベース)	シティグループ・インデックスLLCが公表する、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化した債券指数で、為替の変動を取り除く為替ヘッジを指数に適用したうえでそのパフォーマンスを円ベースで表示したものです。
i-mizuho先進国債券インデックス(為替ヘッジなし)	シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)	シティグループ・インデックスLLCが公表する、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化した債券指数で、委託会社が円換算して表示したものです。
i-mizuho先進国インフレ連動債券インデックス	ブルームバーグ・パークレイズ世界物価連動国債インデックス(除く日本、円換算ベース)	ブルームバーグLPが開発・算出・公表を行う、発行残高や格付を基準に日本を除く世界の主要インフレ連動国債市場で構成されるパフォーマンス指数で、委託会社が円換算して表示したものです。
i-mizuhoオーストラリア債券インデックス	ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(円換算ベース)	ブルームバーグが算出・発表している、一定以上の発行残高があり投資適格であることなどを基準に国債に加え、政府関連債、社債、およびオーストラリアドル建て国際機関債などで構成されるオーストラリア債券市場の代表的なパフォーマンス指数で、委託会社が円換算したものです。
i-mizuhoハイイールド債券インデックス(為替ヘッジあり)	マークイット iBoxx 米ドル建てリキッド・ハイイールド・キャップト指数(円ヘッジ円ベース)	マークイット・インディーズ・リミテッドが算出・提供している、米ドル建て高利回り社債のパフォーマンス指数で、為替の変動を取り除く為替ヘッジを指数に適用したうえでそのパフォーマンスを円ベースで表示したものです。指数は、発行残高などを基準に流動性が高い銘柄を選択して組み入れ、集中投資を避けるため各発行体に対して組み入れ比率の上限を設けています。なお、国債や政府機関債等は当指数から除外されています。
i-mizuhoハイイールド債券インデックス(為替ヘッジなし)	マークイット iBoxx 米ドル建てリキッド・ハイイールド・キャップト指数(円換算ベース)	マークイット・インディーズ・リミテッドが算出・提供している、米ドル建て高利回り社債のパフォーマンス指数で、委託会社が円換算したものです。指数は、発行残高などを基準に流動性が高い銘柄を選択して組み入れ、集中投資を避けるため各発行体に対して組み入れ比率の上限を設けています。なお、国債や政府機関債等は当指数から除外されています。
株式	連動を目指す対象指数(ベンチマーク)	概要
i-mizuho国内株式インデックス	日経平均株価(日経225)	東京証券取引所第一部上場銘柄の主要な225銘柄を対象として、日本経済新聞社により算出・公表される株価指数です。構成銘柄は流動性や業種バランスなどを考慮して選ばれており、定期的な入れ替えが行われます。わが国の株式市場動向を継続的に捉える指標として、広く利用されています。
i-mizuho先進国株式インデックス(為替ヘッジあり)	MSCIコクサイ指数(円ヘッジ円ベース)	MSCI Inc.が開発・算出する、日本を除く世界の主要国で構成される株価指数で、為替の変動を取り除く為替ヘッジを指数に適用したうえでそのパフォーマンスを円ベースで表示したものです。
i-mizuho先進国株式インデックス(為替ヘッジなし)	MSCIコクサイ指数(円換算ベース)	MSCI Inc.が開発・算出する、日本を除く世界の主要国で構成される株価指数で、委託会社が円換算して表示したものです。
i-mizuho米国株式インデックス	S&P500指数(円換算ベース)	スタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスーズ エル エル シーが開発・計算する、米国の主要な500銘柄の株価指数で、委託会社が円換算して表示したものです。
i-mizuho欧州株式インデックス	ユーロストック50指数(円換算ベース)	ストックส์・リミテッドが公表する、欧州ユーロ圏で上場する主要な50銘柄の株価指数で、委託会社が円換算して表示したものです。
i-mizuhoオーストラリア株式インデックス	S&P/ASX200指数(円換算ベース)	スタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスーズ エル エル シーおよびASXが開発・計算する、オーストラリア証券取引所に上場する主要な200銘柄の株価指数で、委託会社が円換算して表示したものです。
i-mizuho新興国株式インデックス	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(円換算ベース)	MSCI Inc.が開発・算出する、新興国で構成される株価指数で、委託会社が円換算して表示したものです。
i-mizuho東南アジア株式インデックス	FTSEアセアン40インデックス(円換算ベース)	FTSEが公表する、アセアンの5カ国(シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピン)の証券取引所に上場する主要な40銘柄で構成される株価指数で、委託会社が円換算して表示したものです。
i-mizuho中国株式インデックス	FTSE中国50インデックス(円換算ベース)	FTSEが公表する、香港証券取引所に上場する中国企業のうち主要な50銘柄で構成される株価指数で、委託会社が円換算して表示したものです。
リート	連動を目指す対象指数(ベンチマーク)	概要
i-mizuho国内リートインデックス	S&P J-REIT指数(配当込み)	スタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスーズ エル エル シーが開発・計算する、日本の不動産投資信託証券(リート)の動きを表す指数です。
i-mizuho先進国リートインデックス(為替ヘッジあり)	S&P先進国REIT指数(除く日本、税引後配当込み、円ヘッジ円ベース)	スタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスーズ エル エル シーが開発・計算する、日本を除く先進国各国の不動産投資信託証券(リート)の動きを表す指数で、為替の変動を取り除く為替ヘッジを指数に適用したうえでそのパフォーマンスを円ベースで表示したものです。
i-mizuho先進国リートインデックス(為替ヘッジなし)	S&P先進国REIT指数(除く日本、税引後配当込み、円換算ベース)	スタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスーズ エル エル シーが開発・計算する、日本を除く先進国各国の不動産投資信託証券(リート)の動きを表す指数で、委託会社が円換算して表示したものです。
その他	連動を目指す対象指数(ベンチマーク)	概要
i-mizuhoコモディティインデックス	S&P GSCIトータルリターン指数(円換算ベース)	スタンダード&プアーズ ダウ・ジョーンズ・インディーズ エル エル シーが開発・計算する、エネルギー、農産物、工業用金属、貴金属、畜産物の5つのセクターの動きを表す商品指数で、委託会社が円換算して表示したものです。
i-mizuhoゴールドインデックス	LBMA金価格(円換算ベース)	ICE Benchmark Administration Limitedによってロンドン時間の午後15時に公表される、世界の金価格の指標とされる金現物価格で、この金価格のパフォーマンスを委託会社が円換算して表示したものです。

出所:各指数算出会社の資料を基にブラックロック・ジャパンが作成

※各ファンドは、対象指数(ベンチマーク)の動きと連動することを目指しますが、主として信託報酬、取引費用、組入銘柄とベンチマーク採用銘柄の相違等の要因があるため、ベンチマークと一致した推移をすることを運用上約束するものではありません。

※連動を目指す対象指数(ベンチマーク)の選定および変更は、例えば各指数の算出が停止された場合や受益者に有利と認められる場合等、各ファンドの商品性および運用効率性を勘案して委託会社が判断します。

投資リスク

各ファンドの基準価額は、組み入れられている有価証券の値動きの他、外貨建資産に投資する場合には為替変動による影響を受けます。これらの信託財産の運用により生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、各ファンドは元金および元金からの収益の確保が保証されているものではなく、基準価額の下落により投資者は損失を被り、元金を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

各ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスク

株 株価変動リスク

株式に投資します。したがって、経済および株式市場動向または株式の発行会社の経営・財務状況等に応じて組入株式の株価および配当金変動し、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

金 金利変動リスク

債券に投資します。債券の価格は、政治、経済、社会情勢等の影響により金利が上昇すれば下落し、金利が低下すれば上昇します。したがって、金利の変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。

信 信用リスク

債券に投資します。投資した債券の発行体の財務状況により、債務不履行が生じることがあります。債務不履行が生じた場合には、債券価格が下落する等、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

また、債券の格付の変更により債券の価格が変動することがあり、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

低 低格付債券への投資リスク

信用格付が低い、または格付されていない公社債に純資産の相当部分を投資します。これらの種類の公社債はより高い利回りを提供する可能性があるものの、格付が比較的高い公社債に比べてより投機的であり、価格がより大幅に変動したり、債券投資の元本回収や金利収入が不確実になるリスクも大きくなり、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

為 為替変動リスク

主として外貨建資産に投資を行います。

「為替ヘッジあり」は、円ベースでの収益の確保を目指し、原則として為替ヘッジを行います。投資対象資産および投資対象資産から生じる収益の全てを完全にヘッジすることはできません。またヘッジ対象通貨の金利が円金利より高い場合、ヘッジ・コストがかかります。

「為替ヘッジなし」は、原則として外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。したがって、為替レートの変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。

デ デリバティブ取引のリスク

先物・オプション取引などのデリバティブ取引を用いることができます。このような投資手法は現物資産への投資に代わって運用の効率を高めるため、または証券価格、市場金利、為替等の変動による影響からファンドを守るために用いられます。デリバティブ取引を用いた結果、コストとリスクが伴い、当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、デリバティブ取引は必ず用いられるわけではなく、用いられたとしても本来の目的を達成できる保証はありません。

カ カントリー・リスク

海外の有価証券に投資をします。投資先の国の政治・経済事情、通貨・資本規制等の要因により、有価証券の価格が変動することがあり、それに伴い当ファンドの運用成果に影響を与えます。エマージング(新興国)市場の発行体が発行する有価証券に投資する場合、エマージング諸国の経済は、先進諸国に比べて不安定であり、市場を取り巻く社会的・経済的環境はより不透明な場合が多く、エマージング諸国の政府は自国経済を規制または監督する上で大きな影響力を行使することがあります。したがって、主として先進国市場に投資する場合に比べて、投資先の国の政治・経済事情、通貨・資本規制等の要因に伴い、より大幅な有価証券の価格変動または流動性の低下が考えられ、それに伴い当ファンドの運用成果に影響を与えます。

流 流動性リスク

有価証券等の購入および売却に際して、市場に十分な流動性がない場合、市況動向等によっては意図した取引が成立しない場合や意図した価格より不利な取引を余儀なくされる可能性があります。この場合、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

投資リスク

イ インフレ連動債への投資リスク

インフレ連動債に投資します。一般的にインフレ連動債の元本および利払い額は、物価水準に連動しており、各国の物価上昇時に上昇し、物価下落時に下落する傾向があり、物価動向が当ファンドの運用成果に影響を与えます。

不 不動産投資信託証券への投資リスク

不動産投資信託証券に投資します。不動産投資信託証券は、保有不動産の評価額等の状況、市場金利の変動、不動産市況や株式市場の動向等により価格が変動します。また、不動産投資信託証券を購入あるいは売却しようとする際に、市場の急変等により流動性が低下し、購入もしくは売却が困難または不可能等になることが考えられます。加えて、不動産投資信託証券の運営上のリスクの影響(当該不動産投資信託証券の上場廃止等)を受けることが想定されます。このような事態が生じた場合にはファンドの運用成果に影響を与えます。

商 商品市場への投資リスク

主に商品指数に連動することを旨とする有価証券に投資します。商品指数は各種商品の価格動向に伴い変動します。商品価格は、商品の需給関係や為替、金利、天候、景気、技術進歩、貿易動向、政治的・経済的事由、政策、戦争・テロの発生、市場の流動性の低下、投機資金の影響、政府の規制・介入等の影響を受け、大幅に変動する場合があります。また、商品市場への投資は実質的に商品先物取引を活用して行います。商品先物取引において値段の低い期近の先物を値段の高い期先の先物に買い換える場合、マイナスの影響を与える可能性があります。このような事態が生じた場合にはファンドの運用成果に影響を与えます。

金 金への投資リスク

主に金現物の値動きに連動することを旨とする有価証券に投資します。金現物の価格は金の需給関係や為替、金利、景気、技術進歩、貿易動向、政治的・経済的事由、政策、戦争・テロの発生、市場の流動性の低下、投機資金の影響、政府の規制・介入等の影響を受け、大幅に変動する場合があります。これらの要因による金価格の変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。

上 上場投資信託証券への投資に関する留意点

金融商品取引所等に上場している投資信託証券(上場投資信託証券)を購入あるいは売却しようとする際に、市場の急変等により流動性が低下し、購入もしくは売却が困難または不可能等になることが考えられます。この場合にはファンドの運用成果に影響を与えることがあります。また、当ファンドでは特定の上場投資信託証券に集中的に投資することがあります。この場合に当ファンドは、当該上場投資信託証券が受ける価格変動リスクや上場投資信託証券の運営上のリスクの影響(当該上場投資信託証券の償還や上場廃止等)をほぼ直接に受けることが想定されます。

※各ファンドの基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。詳しくは、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)にてご確認ください。

[その他の留意点]

- 各ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ベンチマークと基準価額のかい離要因

各ファンドは、基準価額がベンチマークの動きと高位に連動することを旨としますが、主として信託報酬、取引費用、組入銘柄とベンチマーク採用銘柄の相違等の要因があるため、ベンチマークと一致した推移をすることを運用上約束するものではありません。

■収益分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり各ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。したがって、分配金の水準は必ずしも計算期間における各ファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者の個別元本の状況によっては、分配金の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本のことで、投資者毎に異なります。

[リスクの管理体制]

委託会社ではリスク管理を重視しており、独自開発のシステムを用いてリスク管理を行っております。具体的には、運用担当部門とは異なる部門において各ファンドの投資リスクの計測・分析、投資制限のモニタリングなどを行うことにより、各ファンドの投資リスクが運用方針に合致していることを確認し、その結果を運用担当部門にフィードバックするほか、社内関係者で共有しております。また、委託会社の業務に関するリスクについて社内規程を定めて管理を行っております。

お申込みメモ①(詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

購入	購入単位 販売会社が定める単位(販売会社にご確認ください。) 購入価額 次ページ「お申込みメモ②」をご参照ください。 ※ファンドの基準価額は1万円当たりで表示されます。 購入代金 販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金	換金単位 換金単位は、販売会社によって異なります。詳細は販売会社にご確認ください。 換金価額 次ページ「お申込みメモ②」をご参照ください。 ※ファンドの基準価額は1万円当たりで表示されます。 換金代金 原則として、次ページ「お申込みメモ②」に記載の日から販売会社においてお支払いします。 換金制限 大口の換金の申込には制限を設ける場合があります。
締切	申込締切時間 午後3時までに受付けたものを当日のお申し込みとします。ただし、受付時間は販売会社により異なることがあります。詳細は販売会社にお問い合わせください。
制限等	申込不可日 各ファンドについて、次ページ「お申込みメモ②」に該当する休業日は、購入・換金のお申し込みができません。 購入・換金申込受付の中止および取消し 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の受付を中止・取消しする場合があります。
課税	課税関係 課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。i-mizuho国内株式インデックスは、配当控除の適用対象となりますが、i-mizuho国内株式インデックスを除く各ファンドにおいては、配当控除の適用はありません。また、益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は平成29年1月末現在のもので、税法等が改正された場合等には、内容が変更される場合があります。

信託期間	信託期間 ●「株式」に投資する9ファンド: <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <「株式」に投資する9ファンド> i-mizuho国内株式インデックス、i-mizuho先進国株式インデックス(為替ヘッジあり)、i-mizuho先進国株式インデックス(為替ヘッジなし)、i-mizuho米国株式インデックス、i-mizuho欧州株式インデックス、i-mizuhoオーストラリア株式インデックス、i-mizuho新興国株式インデックス、i-mizuho東南アジア株式インデックス、i-mizuho中国株式インデックス (以下、「株式」に投資する9ファンド」といいます。) </div> 無期限(設定日:2013年9月3日) ●「債券」に投資する7ファンド: <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <「債券」に投資する7ファンド> i-mizuho国内債券インデックス、i-mizuho先進国債券インデックス(為替ヘッジあり)、i-mizuho先進国債券インデックス(為替ヘッジなし)、i-mizuho先進国インフレ連動債券インデックス、i-mizuhoオーストラリア債券インデックス、i-mizuhoハイイールド債券インデックス(為替ヘッジあり)、i-mizuhoハイイールド債券インデックス(為替ヘッジなし) (以下、「債券」に投資する7ファンド」といいます。) </div> 無期限(設定日:2013年9月12日) ●「リート・その他」に投資する5ファンド: <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <「リート・その他」に投資する5ファンド> i-mizuho国内リートインデックス、i-mizuho先進国リートインデックス(為替ヘッジあり)、i-mizuho先進国リートインデックス(為替ヘッジなし)、i-mizuhoコモディティインデックス、i-mizuhoゴールドインデックス (以下、「リート・その他」に投資する5ファンド」といいます。) </div> 無期限(設定日:2013年9月26日)
信託期間	繰上償還 各ファンドは、換金により受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合、またはファンドを償還させることが投資者のため有利と認められる場合、その他やむを得ない事情が発生したとき等には、信託期間の途中で信託を終了(繰上償還)させる場合があります。
決算	決算日 ●「株式」に投資する9ファンド:5月2日 ●「債券」に投資する7ファンド:8月2日 ●「リート・その他」に投資する5ファンド:11月2日 (各決算日が休業日の場合は翌営業日が決算日となります。)

ファンドの費用・税金(詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

お客さまが直接的に負担する費用	
購入時	購入時手数料 ありません。
換金時	換金時手数料 ありません。 信託財産留保額 ●i-mizuho先進国インフレ連動債券インデックス 換金受付日の翌営業日の基準価額に対して0.10% ●i-mizuho新興国株式インデックス、i-mizuho東南アジア株式インデックス、i-mizuho中国株式インデックス 換金受付日の翌営業日の基準価額に対して0.30% ※上記4ファンドを除く各ファンドには、信託財産留保額は ありません。

お客さまが間接的に負担する費用	
保有期間中	運用管理費用(信託報酬) 次ページ「お申込みメモ②」をご参照ください。 ファンドの財務諸表監査に関する費用等、信託事務の処理に要する諸費用、外貨建資産の保管費用等についてファンドから支払われます。 ※その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

上記手数料の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

30ページの「本資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご覧ください。

お申込みメモ②(詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

ファンド名	購入価額	換金価額	換金代金	申込受付不可日	信託財産留保額	運用管理費用(信託報酬) ^(注)
i-mizuho国内債券インデックス	購入受付日の基準価額	換金受付日の基準価額		ありません		年0.4104% (税抜 年0.38%)
i-mizuho先進国債券インデックス(為替ヘッジあり)		換金受付日の翌営業日の基準価額			ありません	年0.6156% (税抜 年0.57%)
i-mizuho先進国債券インデックス(為替ヘッジなし)				ニューヨークまたはロンドンの銀行の休業日		
i-mizuho先進国インフレ運動債券インデックス	購入受付日の翌営業日の基準価額	※1	原則として、換金受付日から起算して5営業日目		0.10%	年0.6372% (税抜 年0.59%)
i-mizuhoオーストラリア債券インデックス	購入受付日の基準価額	換金受付日の翌営業日の基準価額		オーストラリア証券取引所の休場日またはシドニーの銀行の休業日		実質年0.6156%程度 ^{*2} (税抜 年0.57%程度)
i-mizuhoハイイールド債券インデックス(為替ヘッジあり)				ロンドン証券取引所の休場日		実質年0.932%程度 ^{*2} (税抜 年0.9%程度)
i-mizuhoハイイールド債券インデックス(為替ヘッジなし)						
i-mizuho国内株式インデックス	購入受付日の基準価額	換金受付日の基準価額		ありません		実質年0.4104%程度 ^{*2} (税抜 年0.38%程度)
i-mizuho先進国株式インデックス(為替ヘッジあり)					ありません	
i-mizuho先進国株式インデックス(為替ヘッジなし)				ニューヨークまたはロンドンの証券取引所の休場日		
i-mizuho米国株式インデックス		換金受付日の翌営業日の基準価額	原則として、換金受付日から起算して5営業日目	ニューヨーク証券取引所の休場日		実質年0.6156%程度 ^{*2} (税抜 年0.57%程度)
i-mizuho欧州株式インデックス				パリまたはフランクフルトの証券取引所の休場日		
i-mizuhoオーストラリア株式インデックス	購入受付日の翌営業日の基準価額			オーストラリア証券取引所の休場日		
i-mizuho新興国株式インデックス				ニューヨーク証券取引所、または香港証券取引所、または韓国取引所の休場日		実質年0.6264%程度 ^{*2} (税抜 年0.58%程度)
i-mizuho東南アジア株式インデックス		※1	原則として、換金受付日から起算して6営業日目	シンガポール証券取引所またはクアラルンプール証券取引所の休場日	0.30%	年0.6804% (税抜 年0.63%)
i-mizuho中国株式インデックス				香港証券取引所の休場日		
i-mizuho国内リートインデックス	購入受付日の基準価額	換金受付日の基準価額		ありません		年0.4212% (税抜 年0.39%)
i-mizuho先進国リートインデックス(為替ヘッジあり)						
i-mizuho先進国リートインデックス(為替ヘッジなし)	購入受付日の翌営業日の基準価額	換金受付日の翌営業日の基準価額	原則として、換金受付日から起算して5営業日目	ニューヨーク証券取引所の休場日	ありません	年0.6372% (税抜 年0.59%)
i-mizuhoコモディティインデックス						実質年1.182%程度 ^{*2} (税抜 年1.15%程度)
i-mizuhoゴールドインデックス						実質年0.682%程度 ^{*2} (税抜 年0.65%程度)

2017年4月時点

※1 換金受付日の翌営業日の基準価額－信託財産留保額

※2 投資する上場投資信託証券等の投資比率や報酬率が変わる可能性があり、実質的な負担についても変動することがあります。

(注) 運用管理費用(信託報酬)は、各ファンドの純資産総額に対する報酬率を記載しています。

本資料で使用した指数および指数値データについて

国内債券はNOMURA-BPI総合、先進国債券(為替ヘッジあり)はシティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ円ベース)、先進国債券(為替ヘッジなし)はシティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)、先進国インフレ連動債はブルームバーグ・バークレイズ世界物価連動国債インデックス(除く日本、円換算ベース)、オーストラリア債券はブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(円換算ベース)、ハイイールド債券(為替ヘッジあり)は2007年2月末から2009年7月末まではバークレイズキャピタル・グローバル・ハイ・イールド・コーポレート指数(円ヘッジ円ベース)および2009年7月末からはマークイットiBoxx米ドル建てリキッド・ハイイールド・キャップト指数(円ヘッジ円ベース)、ハイイールド債券(為替ヘッジなし)は2007年2月末から2009年7月末まではバークレイズキャピタル・グローバル・ハイ・イールド・コーポレート指数(日本円ベース)および2009年7月末からはマークイットiBoxx米ドル建てリキッド・ハイイールド・キャップト指数(円換算ベース)、国内株式は日経平均株価(日経225)、先進国株式(為替ヘッジあり)はMSCIコクサイ指数(円ヘッジ円ベース)、先進国株式(為替ヘッジなし)はMSCIコクサイ指数(円換算ベース)、米国株式はS&P500指数(円換算ベース)、欧州株式はユーロストックス50指数(円換算ベース)、オーストラリア株式はS&P/ASX200指数(円換算ベース)、新興国株式はMSCIエマージング・マーケッツ・インデックス(円換算ベース)、東南アジア株式はFTSEアセアン40インデックス(円換算ベース)、中国株式はFTSE中国50インデックス(円換算ベース)、国内リートはS&P J-REIT指数(配当込み)、先進国リート(為替ヘッジあり)はS&P先進国REIT指数(除く日本、税引後配当込み、円ヘッジ円ベース)、先進国リート(為替ヘッジなし)はS&P先進国REIT指数(除く日本、税引後配当込み、円換算ベース)、コモディティはS&P GSCIトータルリターン指数(円換算ベース)、ゴールドはLBMA金価格(円換算ベース)を使用しています。また、5ページで参考ポートフォリオ例として掲載しているタイプ1~6は、上記各指数値を基に各タイプの資産配分を用いて月次リバランスしたものと仮定して計算しています。なお、円換算ベースの算出においては、三菱東京UFJ銀行公示仲値を用いて円換算しています。

※現在使用されている各指数の著作権等については、それぞれをベンチマークとするファンドのページに記載されています。(各ファンドの連動を目指すベンチマークについては、25ページご参照)

委託会社、その他の関係法人の概況

- 委託会社 **ブラックロック・ジャパン株式会社**(投資信託財産の運用の指図等を行います。)
- 受託会社 **みずほ信託銀行株式会社(再信託受託会社:資産管理サービス信託銀行株式会社)**
(投資信託財産の保管・管理・計算等を行います。)
- 投資顧問会社
 - 各ファンド共通
ブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ.エイ.
(委託会社から委託を受け、有価証券の貸付の指図の全部または一部を行います。)
 - **i-mizuho オーストラリア債券インデックス**
ブラックロック・インベストメント・マネジメント(オーストラリア)リミテッド
(委託会社から委託を受け、外国有価証券等に関する運用指図を行います。)
- 販売会社 **みずほ証券株式会社**
(受益権の募集の取り扱いおよび販売を行い、信託契約の一部解約に関する事務、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いに関する事務等を行います。)

本資料に関してご留意いただきたい事項

お申し込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面の内容をご確認ください。本資料は、i-mizuhoインデックスシリーズの特徴や投資対象、リスク要因および留意点についてご理解を深めていただく目的でブラックロック・ジャパン株式会社が作成した販売用資料です。各ファンドの基準価額は、各ファンドに組み入れられている有価証券等の値動きの他、外貨建資産に投資する場合には為替変動による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属いたします。各ファンドは元金が保証されているものではありません。投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。各ファンドの取得のお申し込みをされる場合には、投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面を販売会社からお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本資料はブラックロック・ジャパン株式会社が信頼できると判断した資料・データ等により作成いたしました。その正確性および完全性について保証するものではありません。また使用されるデータ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

〈照会先〉**ブラックロック・ジャパン株式会社**

電話番号:03-6703-4300(受付時間 営業日の9:00~17:00) ホームページアドレス:www.blackrock.com/jp/